

## 斑点米カメムシ類の被害の傾向

三重県病害虫防除所

水稻の重要害虫である斑点米カメムシ類は、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ等があげられ、このうちクモヘリカメムシ、シラホシカメムシ、ホソハリカメムシの3種が被害の大きい斑点米のカメムシ類として防除対策が実施されています。

本年はクモヘリカメムシの発生が多く、水稻の収量品質低下のおもな要因であったと考えられるとともに、クモヘリカメムシの発生数は、増加傾向が続いています。

今後、飼料用稲、業務用米の導入による品種の多様化と作付け期間の拡大に加えて、気候変動に伴う気温の上昇などの影響による病害虫の新たな発生動向に注意して防除対策を再検討する必要があると考えられます。

一方、同様に斑点米被害が大きいイネカメムシの発生が近年増加しており、水稻の収量品質低下の要因の一つとして、今後注意が必要です。

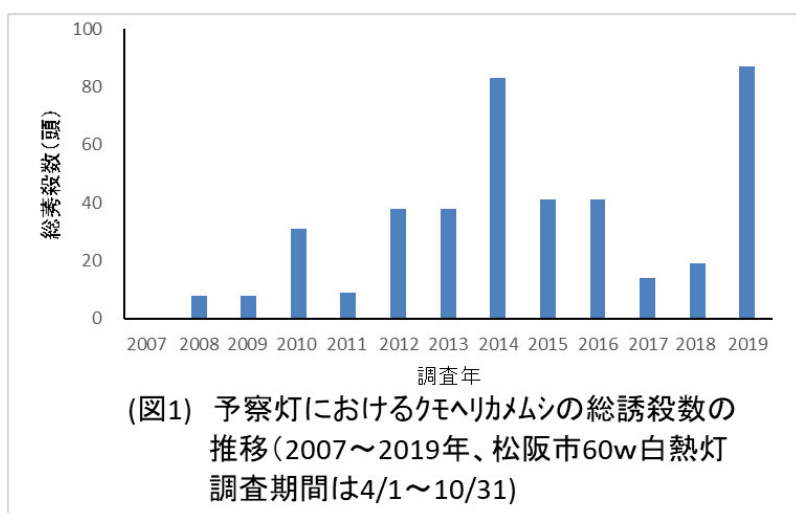


図2. クモヘリカメムシ

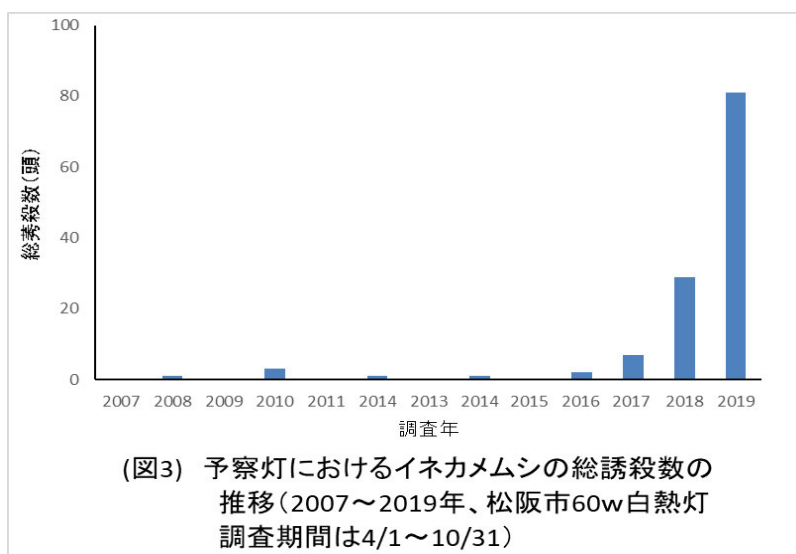


図4. イネカメムシ